

ニ手ハナレザル也、兩タビ先ノ方ノツガリヒダヲノブルコト、宗和流ニカギリタルコト也、遠州ハ、コノ時袋ヲソレハスグニ袋ニ手ヲハナスマジト云心也、ト仰セラル、○近衛總ジテ今ノ人茶タテニスル也、

湯ヲ稽古スルハ、アタマカラ茶湯ノ式ヲケイコシテ、早自分ニ茶湯スル也、古ヘノ人ハ、アシライハアシライ、道具ノサバキハサバキト、一色々々ニテケイコシタル事ナリト仰ラル、

〔槐記〕享保十二年霜月十日、茶杓ノ茶ヲハラフニ、茶碗ノフチヲタ、クコトハ常ノコトナリ、天目類ハ、フチヲタ、カズ、中ニテタ、クト覺ユ、天目ニカギルコトニ非ズ、フクリンモノトテ、フチヲ銀錫ノ類ニテトリタルモノハ、總ジテフチヲタ、クベカラズ、天目ハフクリンモノナレバ、勿論ナリト仰○近衛ラル、十三年五月三日、濃茶立ノトキ茶杓ノカケヤウ、他流ト全ク異ナリ、他流ニテハ縦ニカクル、御流儀ニテハ横ニカクル也、縦ハ茶杓ノ常座ナレバ也、

〔茶道要録主上〕茶盃之事

一茶筌之事、○中茶盃ニ入時モ、茶ヲ點ル時モ、前後相違有ベカラズ、取時ハ披キタル手ニテ直ニ取、置時ハ握リタル手ニテ直ニ可置、盃ニ入ル事、茶巾ノ上ニ穗ヲ向ノ縁ニ持セ、筌ノ不動ヤウニ入置ベシ、口大キニ開キタル盃ニハ、穗ヲ下ヘシテ軸ヲ前ノ縁ヘ持セ掛置ベシ、是ハ大盃前ノ方アキテ見惡キ故ニ爾ス、見合有ベシ、

〔槐記〕享保十二年閏正月九日、茶筌ウチラスルコトハ、先後ニ差別アリ、初メハ湯ス、ギノ茶筌ハ湯ニテ穗ヲヤハラグル爲ナレバ、イカニモヤハラカニ打反シ、茶筌ス、ギモ靜ニ音セヌホドニスベシ、仕方後ノ水ス、ギハ、茶筌ニ茶ノツキタルヲス、ギ、清クスル爲ナレバ、如何ニモタシカニ音ヲシテ、茶碗ノ内四方トモニヨクアラヒ、穗ヲシゴク様ニシテ茶ヲオトスベシ、世間ノ茶、大シナ、

〔茶道獨言〕茶筌投しなどいへる人あり、是もいかゞ有べき、茶をふり立る爲の筌なるを、何の爲に